

PAL(ぱる)通信

Vol.3

令和4年2月発行



避難訓練を実施しました！

レピラでは、利用者の方々に当施設を安心して利用していただけるよう、地震や火災を想定した避難訓練を定期的実施しております。今回は「火災」を想定した内容で訓練を行いました。その時の、訓練の様子をご紹介します。

避難訓練の様子



レピラ全体の避難訓練の時、PALは保護者研修(取り組み発表会)を行っており、5階の大会議室には、保護者の皆様とPALの職員がいました。研修開始後すぐに、火災発生時の館内アナウンスがあり、誘導係のPALの職員が、保護者の皆様に避難の手順などについて説明をしました。次の館内アナウンスがあるまで、その場で待機してもらいました。



館内アナウンスにより、出火元は2階であり、初期消火は不可能ということで、避難の指示がありました。誘導係のPALの職員を先頭に、保護者の皆様は一列になって、避難場所である5階のベランダまで避難しました。なお、レピラは燃え広がらない構造になっております。



ベランダ



5階のベランダに出た後、人数確認を行いました。館内アナウンスにより、火災も燃え広がらなかったため、避難の終了が指示されました。今回の避難訓練はこれで終了でしたが、実際、火災等が起きた場合は、5階のベランダに備え付けられた《救助袋》(袋の中を滑り降りる避難器具)を用いて1階まで脱出していただきます。

レピラ4階 PALから避難する場合は

火災等の発生を知らせる館内アナウンス・サイレンがあります。避難指示があるまで、職員と一緒にPALの中で、待機します。

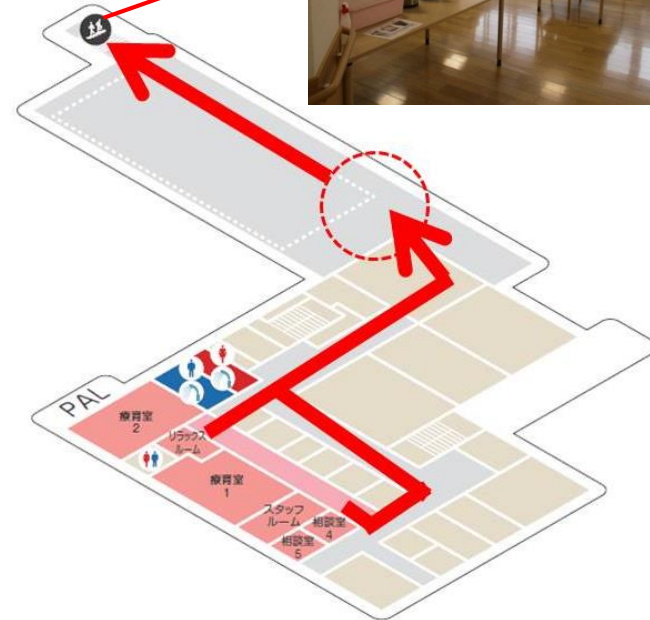


館内アナウンスにより、避難指示がありましたら、PALの職員と一緒に、4階のランチルームまで一時避難します。



4階のランチルームには、4階を利用されている方、職員も一時避難します。人数確認を行った後、非常階段を下りて、1階に行きます。

ランチルーム



非常階段



おうちで実践！

その日の天気予報の最高気温と体の感じ方に照らし合わせて、どんな服装が適しているのかを考えます。

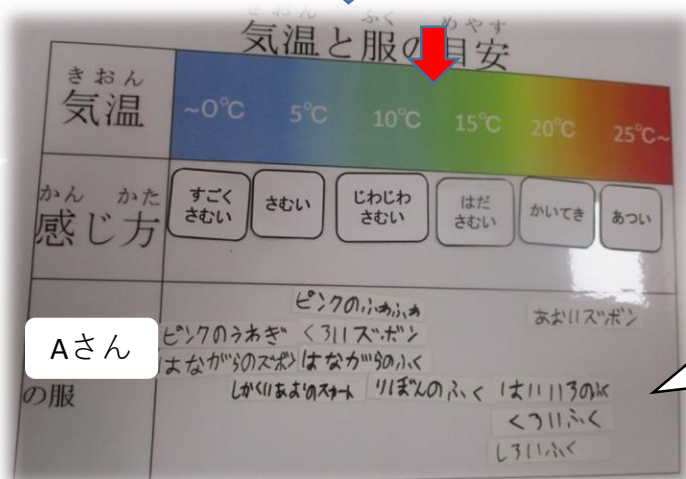
暑い日に厚手のズボンを履きたがったり、寒い日に薄手のワンピースを着たがることがあったり、衣替えが大変なことってありませんか？

寒い冬でも短いスカートをはきたいAさん。Aさんと一緒にPALの療育で気温別の服装の目安という表を作ってみました。気温と服装選びにおける一定のルールを、表を見ながら説明し、本人用の服装目安票を作成しました。気温とその時の感じ方を考えてもらい、Aさんの服から、この気温の時にどれを着るのかを記入してもらいました。

Aさんのオリジナルの表ができあがり、本人も保護者も喜んでくださいました。



その日の気温のところに、矢印をつけてあげると、服装選びの目安になります。



お子さんが持っている服を、写真や文字にして、気温別に合わせて表に貼っておくと、分かりやすいです。

朝の天気予報を見ながら、「今日はこれがいいかな」、と一緒に会話する時間が作れると、親子のコミュニケーションにもなりますよね！ご家庭で、ぜひ、試してみてくださいね。